

第2回「ネイチャーフェスティバル」開催

～子どもたちの未来のために～ 「創ろう！ふるさとの森を・再生しよう！水源の森を」

【日 時】2005年4月30日（日）10:00～16:00 【場 所】新鶴見操車場跡地 創造のもり第3期エリア

【主 催】ネイチャーフェスティバル実行委員会

【共 催】NPO幸まちづくり研究会・NPO緑のダム北相模 ★神奈川県との協働事業として開催

【後 援】川崎市・神奈川県・相模湖町・JR貨物（株）

【協 賛】幸まちづくり研究会・(NPO)緑のダム北相模・JR貨物労組・JR東労組横浜地本・JR総連・新川崎ふるさとづくりの会・さいわい夢ひろば友の会・NPO法人WE21 ジャパンさいわい・読売新聞新川崎店他

【来場者】3,500人

特に緑少ない幸区にとっては、唯一残された新鶴見操車場跡地に防災拠点機能を持つ「緑」を創出していくことが、多くの市民の願いです。会場となる跡地では現在、川崎市暫定利用として、市民・企業・行政・労働組合等の協働による地域環境を再生するグラウンドワーク事業が展開されています。

第2回目は、子どもたちが自然の中で思いっきり遊べることができ、いざという時には防災拠点ともなり、平常時には誰もが集い、憩えるコミュニティ拠点となる「ふるさとの森」づくりを市民参加で推進するとともに、森林破壊が進む水源の森を守るために「流域材を使うことが森を守ること」を都市の人に広報啓発する場としてイベントを開催しました。

手作りの檜舞台では、杉の子太鼓、エイサー隊、ロックソーラン、ロックシンガーの演奏やマジックショーやフィリピンの子どもたちによるパンダンス等が披露され、舞台の横では県産材の椅子やテーブル、組み立て式キット小屋の展示、住宅相談など、森仲間が都市の人にアピールを。また、企業の環境社会貢献活動(CSR)PRコーナーには、JR貨物(株)、富士通川崎工場が出展し、展示や舞台から取り組みをアピールしました。当研究会は操車場の歴史展示を行いました。

- 「子どもの森」遊びの広場(バームクーヘン作り・鋸引き体験他) ●鉄道模型 ●フリーマーケット(100区画)
- もりもりコンサート(杉の子太鼓・ロックソーラン・エイサー隊・マジックショー他) ●環境共生コーナー



県産材の活用促進PRの「檜舞台」考案 オープニング！杉の子太鼓の元気な音が会場いっぱいに響く



富士通川崎工場が出展し食堂の生ごみリサイクルの堆肥を配布と地場野菜の販売

操車場跡地の歴史パネルを展示